

# 人権学習展開例 (第2学年)



主題名 お年寄りへの 思いやり

教材名 大すきな おばあちゃん

人権学習の視点 個別的な視点「高齢者の人権問題」

## 主題・教材について

現在は、少子化・高齢化の社会を迎えていると言われる。平成12年には、すでに65歳以上の人口は0～14歳の年少人口を上回り、概ね人口の6人に1人は65歳以上となっている。また、子どもとの同居率は年々低下し、昭和55年には7割程度あったものが、平成10年には5割程度となっている。今後は、高齢者に思いやりの気持ちをもって優しくかかわっていける力が、より重要になってくると思われる。

また、高齢者にとっては、日常生活の中で年をとると病気やけがで寝込むことがあり、それまでできていたことができなくなってくることもある。この教材では、高齢者とかわる場面を理解する中で、高齢者を理解し、優しく接していくことが大切であることに気付かせたい。また、周囲に積極的に関心をもち、子ども自身の視点から自分ができることに気付き、進んでかかわろうとする態度と行動力を育てていきたい。

## ねらい

高齢者に優しく接し、大切にすることを養ったり、自分でできることに気付き、進んでかかわろうとしたりする態度を養う。

## 本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具	
導入	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。	○本時の学習では、お年寄りのことについて考えることを伝える。	資料 「大すきな おばあちゃん」	
	<b>おとしよりのことを考えよう</b>					
展開	○「大すきな おばあちゃん」を読み聞かせる。	一斉	○「大すきな おばあちゃん」の詩を聞く。		ワークシート ①	
	<b>「大すきな おばあちゃん」について考えよう</b>					
	○おばあちゃんとの思い出を発表させる中で、これまでのかかわりを理解させる。	一斉	○おばあちゃんとの思い出を発表する。	○楽しい思い出が多かったことを感じ取らせる。 ○いろいろなことを知っていたり、できたりするお年寄りのよさに気付かせる。		
	<b>おばあちゃんが寝込んだとき、どんな気持ちだったろう</b>					
展開	○寝込むようになることで、それまでできていたことができなくなる場合があることを理解させる。	個別	○寝込んでからのおばあちゃんが、以前と変わってきたことを発表し、その時の気持ちをワークシートに書く。	○今までしてもらえていたことが、してもらえなくなり、寂しい気持ちになっていることを感じ取らせる。	ワークシート ②	
	○家族がおばあちゃんにどんな接し方をしているのかを理解させる。	一斉	○家族がおばあちゃんにしていることを発表する。	○優しさや、いたわる気持ちが行動につながっていることに気付かせる。		
<b>自分が「ぼく」ならおばあちゃんに何ができるかを考えよう</b>						
まとめ	○おばあちゃんにどのように接したらよいかを考えさせる。	個別 一斉	○自分が「ぼく」だったらおばあちゃんに何ができるかをワークシートに書き、発表する。	○「ぼく」がしたことを確かめながら、具体的な行動について考えさせる。	ワークシート ②	
	○お年寄りに優しく接していこうとする気持ちをもたせる。	一斉	○教師の話を書く。	○お年寄りに優しく接していくことは、その人を大切にしていくことと同じであることを伝える。		

## 評価

高齢者に優しく接し、大切にすることを養ったり、自分でできることに気付き、進んでかかわろうとする態度を養うことができたか。

